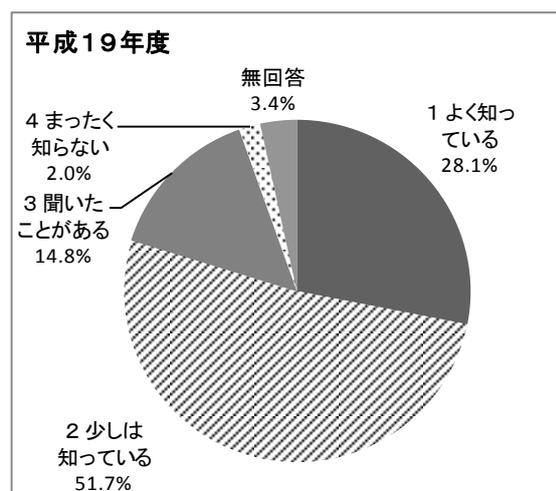
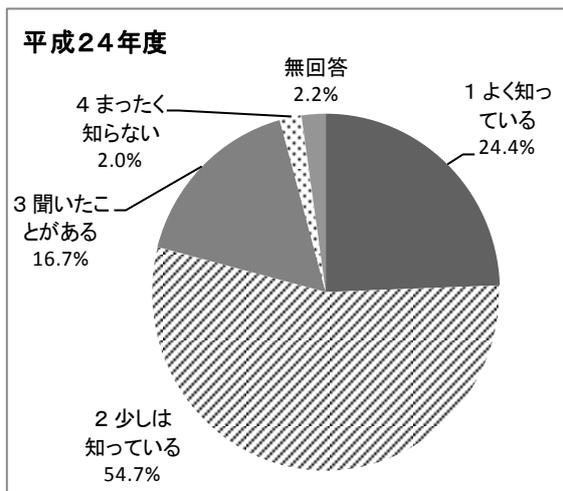
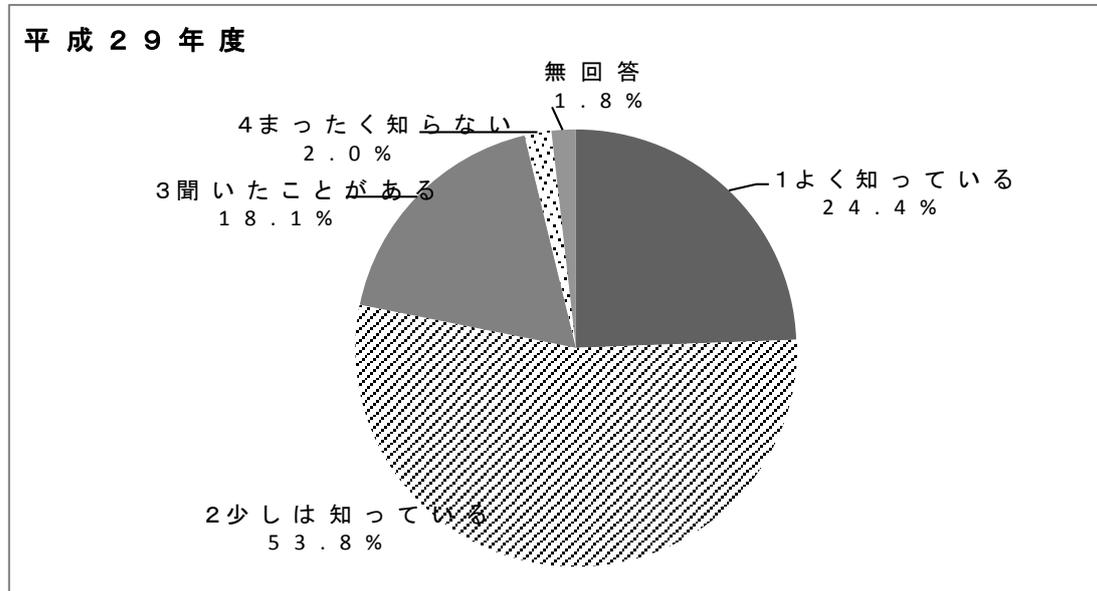


4 個別の人権問題

(1) 同和問題

問5 「同和問題あるいは部落差別問題」と言われる人権問題を知っていますか。(○は1つだけ)



■同和問題の認知度

(%)

分類	合計 (人)	1 よく知っている	2 少しは知っている	3 聞いたことがある	4 まったく知らない	無回答
総数 (N)	1,012	24.4	53.8	18.1	2.0	1.8
性別	男性	27.3	54.5	15.2	1.5	1.5
	女性	20.8	53.9	21.2	2.2	1.9
	不明	30.4	34.8	21.7	8.7	4.3
年齢別	18～19歳	50.0	50.0	-	-	-
	20～29歳	8.3	66.7	22.9	2.1	-
	30～39歳	13.8	65.9	17.1	2.4	0.8
	40～49歳	24.4	57.7	15.4	2.6	-
	50～59歳	27.8	57.1	14.3	0.8	-
	60～69歳	22.6	55.7	20.4	0.4	0.9
	70～79歳	29.7	45.1	17.0	3.3	4.9
	80歳以上	32.2	40.0	21.7	1.7	4.3
不明	30.4	34.8	21.7	8.7	4.3	

【回答傾向】

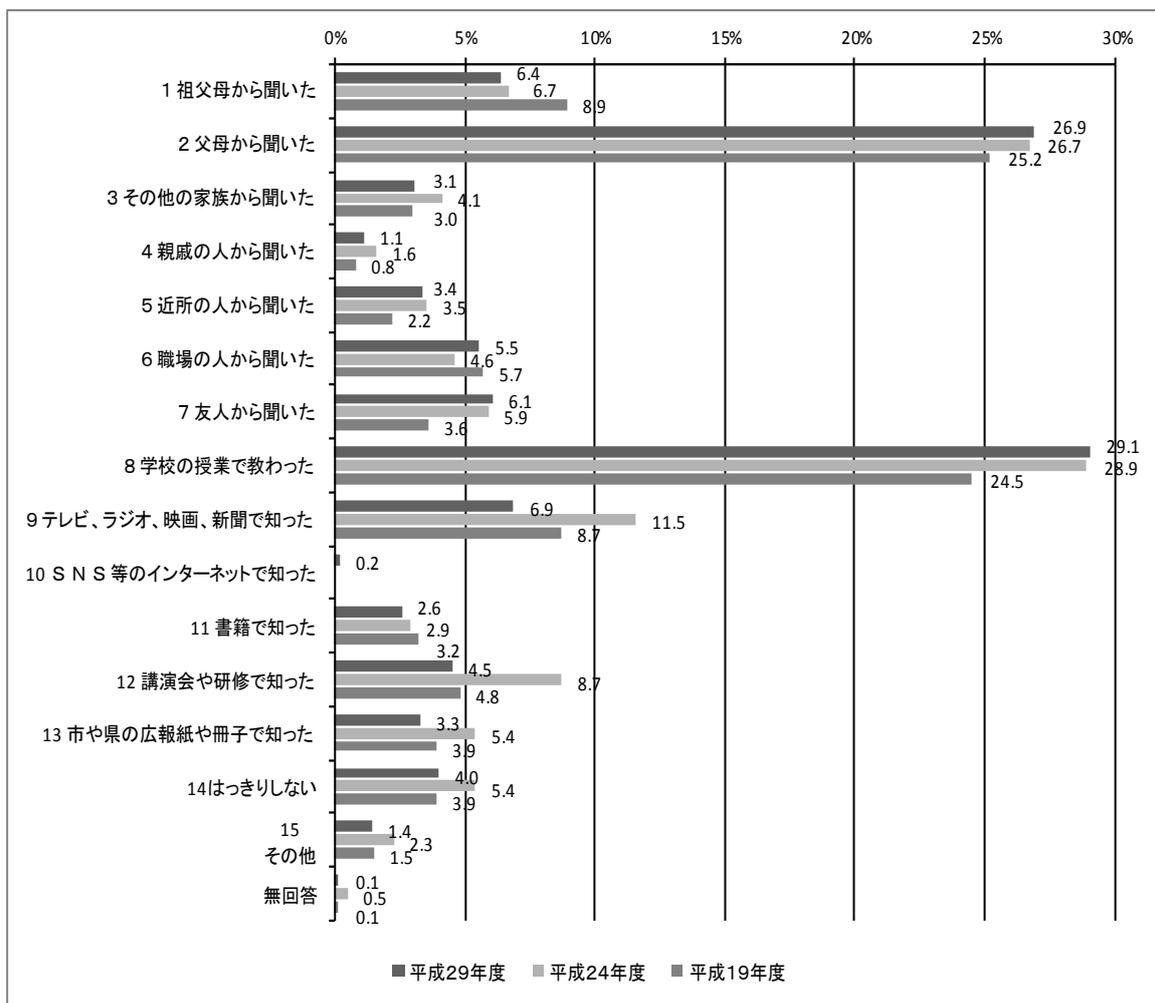
「同和問題」と言われる人権問題を知っているかについては、「1 よく知っている」が24.4%、「2 少しは知っている」が53.8%、「3 聞いたことがある」が18.1%で、これらを合わせると96.3%が『知っている(計)』となっている。一方、「4 まったく知らない」は2.0%となっている。

性別でみると、「1 よく知っている」、「2 少しは知っている」、「3 聞いたことがある」を合わせると、男性は97.0%、女性では95.9%となっており差異はみられない。

年齢別でみると、「1 よく知っている」、「2 少しは知っている」、「3 聞いたことがある」を合わせると、すべての年齢層で90%以上となっているが、「1 よく知っている」のみで比較すると、10歳代は50.0%、20歳代は8.3%と認知の度合いに差がみられる。

【分析】

問5-1 問5で1、2、3のいずれかを選ばれた方にお尋ねします。同和問題のことを初めて知ったのは、どのような状況でしたか。(〇は1つだけ)



■同和問題を知ったきっかけ

(%)

分類	合計 (人)	1 祖父母から聞いた	2 父母から聞いた	3 その他の家族から聞いた	4 親戚の人から聞いた	5 近所の人から聞いた	6 職場の人から聞いた	7 友人から聞いた	8 学校の授業で教わった	
総数 (N)	974	6.4	26.9	3.1	1.1	3.4	5.5	6.1	29.1	
性別	男性	511	6.5	26.6	2.3	1.2	3.9	7.2	7.6	24.9
	女性	443	6.5	27.8	3.8	1.1	2.7	3.4	4.1	34.3
	不明	20	-	15.0	5.0	-	5.0	10.0	10.0	20.0
年齢別	18~19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	20~29歳	47	4.3	17.0	2.1	-	2.1	6.4	-	55.3
	30~39歳	119	4.2	16.8	2.5	-	-	1.7	2.5	63.9
	40~49歳	152	2.6	13.8	0.7	-	-	3.3	2.6	68.4
	50~59歳	132	8.3	37.1	3.0	0.8	1.5	6.1	8.3	24.2
	60~69歳	227	6.2	41.0	3.1	1.8	3.1	7.0	7.9	9.3
	70~79歳	167	8.4	24.6	6.0	3.0	8.4	6.0	7.2	7.2
	80歳以上	108	11.1	24.1	2.8	0.9	7.4	7.4	8.3	5.6
不明	20	-	20.0	5.0	-	5.0	10.0	10.0	20.0	

分類	合計 (人)	9 テレビ、ラジ オ、映画、新 聞で知った	10 SNS等のイ ンターネット で知った	11 書籍で知っ た	12 講演会や研 修で知った	13 市や県の広 報紙や冊子 で知った	14 はっきりしな い	15 その他	無回答	
総数 (N)	974	6.9	0.2	2.6	4.5	3.3	4.0	1.4	0.1	
性別	男性	511	7.4	0.2	3.7	4.1	3.7	4.7	1.0	-
	女性	443	6.1	0.2	1.4	4.7	2.7	3.2	2.0	-
	不明	20	10.0	-	-	10.0	5.0	5.0	-	5.0
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	47	10.6	-	-	-	-	4.3	-	-
	30～39歳	119	6.7	-	0.8	3.4	1.7	0.8	-	-
	40～49歳	152	2.6	0.7	0.7	2.6	0.7	1.3	1.3	-
	50～59歳	132	5.3	0.8	2.3	9.1	1.5	0.8	1.5	-
	60～69歳	227	5.7	-	3.5	5.3	4.0	4.8	1.3	-
	70～79歳	167	7.8	-	3.6	4.8	6.6	8.4	1.8	-
	80歳以上	108	13.9	-	5.6	1.9	5.6	7.4	3.7	-
	不明	20	10.0	-	-	10.0	5.0	-	-	5.0

【回答傾向】

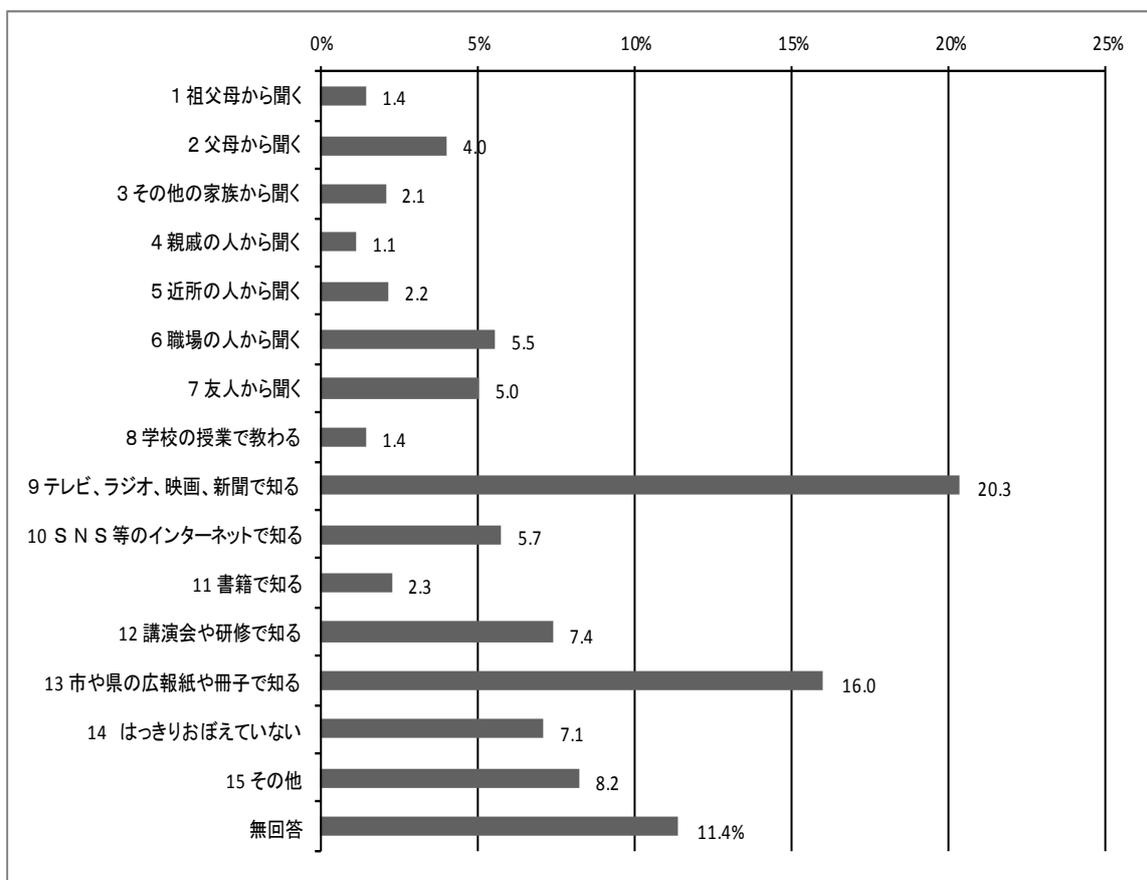
同和問題をどのように知ったかについては、「8 学校の授業で教わった」が 29.1%と最も多く、次いで「2 父母から聞いた」が 26.9%となっており、この2項目で約半数を占めている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「6 職場の人から聞いた」（男性：7.2%、女性：3.4%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「8 学校の授業で教わった」（女性：34.3%、男性：24.9%）となっている。

年齢別でみると、全体として10歳代～40歳代までの若年層は「8 学校の授業で教わった」の割合が高く、50歳代以上の年配層では「2 父母から聞いた」、「1 祖父母から聞いた」が他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問5-2 問5で1、2、3のいずれかを選ばれた方にお尋ねします。同和問題に関して、現在、どのような手段で情報を得ていますか。(〇は1つだけ) (新設)



■同和問題に関する情報入手手段

(%)

分類	合計 (人)	1 祖父母から聞く	2 父母から聞く	3 その他の家族から聞く	4 親戚の人から聞く	5 近所の人から聞く	6 職場の人から聞く	7 友人から聞く	8 学校の授業で教わる	
総数 (N)	974	1.4	4.0	2.1	1.1	2.2	5.5	5.0	1.4	
性別	男性	511	0.8	3.9	1.8	1.8	2.3	5.9	4.7	1.0
	女性	443	2.3	4.3	2.0	0.5	2.0	5.0	5.4	1.8
	不明	20	-	-	10.0	-	-	10.0	5.0	5.0
年齢別	18~19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	20~29歳	47	2.1	8.5	4.3	-	2.1	23.4	4.3	2.1
	30~39歳	119	1.7	5.9	1.7	-	0.8	6.7	4.2	2.5
	40~49歳	152	0.7	3.9	2.0	-	0.7	7.9	5.9	3.3
	50~59歳	132	1.5	3.8	0.8	0.8	1.5	6.1	3.8	-
	60~69歳	227	0.9	3.1	1.3	1.8	1.8	4.8	4.4	0.9
	70~79歳	167	1.2	3.0	3.0	3.0	4.8	0.6	7.2	-
	80歳以上	108	3.7	4.6	1.9	0.9	3.7	0.9	4.6	-
不明	20	-	-	10.0	-	-	10.0	5.0	5.0	

分類	合計 (人)	9 テレビ、ラジオ、 映画、 新聞で知る	10 SNS等のイ ンターネット で知る	11 書籍で知る	12 講演会や研 修で知る	13 市や県の広 報紙や冊子 で知る	14 はっきりお ぼえていな い	15 その他	無回答	
総数 (N)	974	20.3	5.7	2.3	7.4	16.0	7.1	8.2	11.4	
性別	男性	511	20.4	7.2	2.9	8.6	14.1	6.7	8.8	10.6
	女性	443	20.5	4.1	1.4	5.9	18.7	7.4	7.9	12.0
	不明	20	15.0	5.0	5.0	10.0	5.0	10.0	-	20.0
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	47	21.3	12.8	-	4.3	-	6.4	6.4	6.4
	30～39歳	119	12.6	14.3	1.7	8.4	7.6	10.9	10.9	13.4
	40～49歳	152	17.8	8.6	2.0	5.3	8.6	7.2	11.8	15.1
	50～59歳	132	18.9	4.5	1.5	15.2	9.8	6.8	12.9	12.9
	60～69歳	227	22.5	4.8	1.8	8.4	22.9	4.8	7.0	9.3
	70～79歳	167	22.8	-	3.0	6.0	26.3	5.4	6.0	9.0
	80歳以上	108	26.9	0.9	4.6	0.9	22.2	11.1	2.8	11.1
不明	20	15.0	10.0	5.0	10.0	5.0	5.0	-	20.0	

【回答傾向】

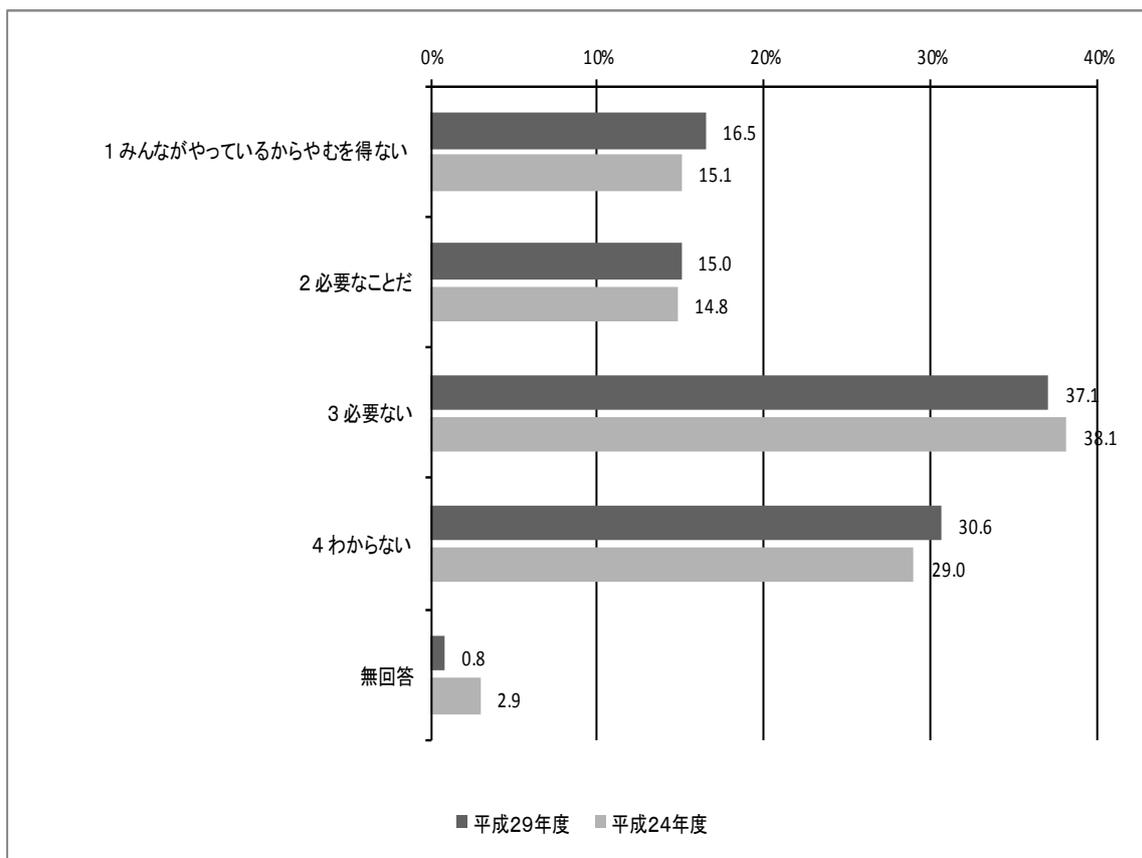
同和問題をどのような手段で情報を得ているかについては、「9 テレビ、ラジオ、映画、新聞で知る」が20.3%と最も多く、次いで「13 市や県の広報紙や冊子で知る」が16.0%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「10 SNS等のインターネットで知る」（男性：7.2%、女性：4.1%）、「12 講演会や研修で知る」（男性：8.6%、女性：5.9%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より「13 市や県の広報紙や冊子で知る」（女性：18.7%、男性14.1%）、「1 祖父母から聞く」（女性：2.3%、男性：0.8%）となっている。

年齢別でみると、20歳代が「6 職場の人から聞く」23.4%、「13 市や県の広報紙や冊子で知る」は、60歳代～80歳以上の割合が他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問6 すべての方にお尋ねします。結婚や就職などで同和地区出身の人かどうかの身元調査を行うことについてどう思いますか。(〇は1つだけ)



■身元調査の必要性

(%)

分類	合計 (人)	1 みんながやっているからやむを得ない	2 必要なことだ	3 必要ない	4 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	16.5	15.0	37.1	30.6	0.8	
性別	男性	527	17.6	16.1	41.6	23.5	1.1
	女性	462	14.9	13.4	32.3	39.2	0.2
	不明	23	21.7	21.7	30.4	21.7	4.3
年齢別	18~19歳	2	50.0	-	-	50.0	-
	20~29歳	48	6.3	10.4	52.1	29.2	2.1
	30~39歳	123	8.9	9.8	50.4	30.9	-
	40~49歳	156	13.5	11.5	38.5	36.5	-
	50~59歳	133	16.5	18.0	33.8	31.6	-
	60~69歳	230	20.9	15.7	36.5	26.1	0.9
	70~79歳	182	19.2	14.8	34.1	30.2	1.6
	80歳以上	115	18.3	21.7	26.1	33.0	0.9
不明	23	21.7	21.7	30.4	21.7	4.3	

【回答傾向】

結婚や就職などで、同和地区出身の人かどうかの身元調査を行うことについてどう思うかは、「3 必要ない」が37.1%と最も多く、次いで「4 わからない」が30.6%、「1 みんながやっているからやむを得ない」が16.5%、「2 必要なことだ」が15.0%となっている。

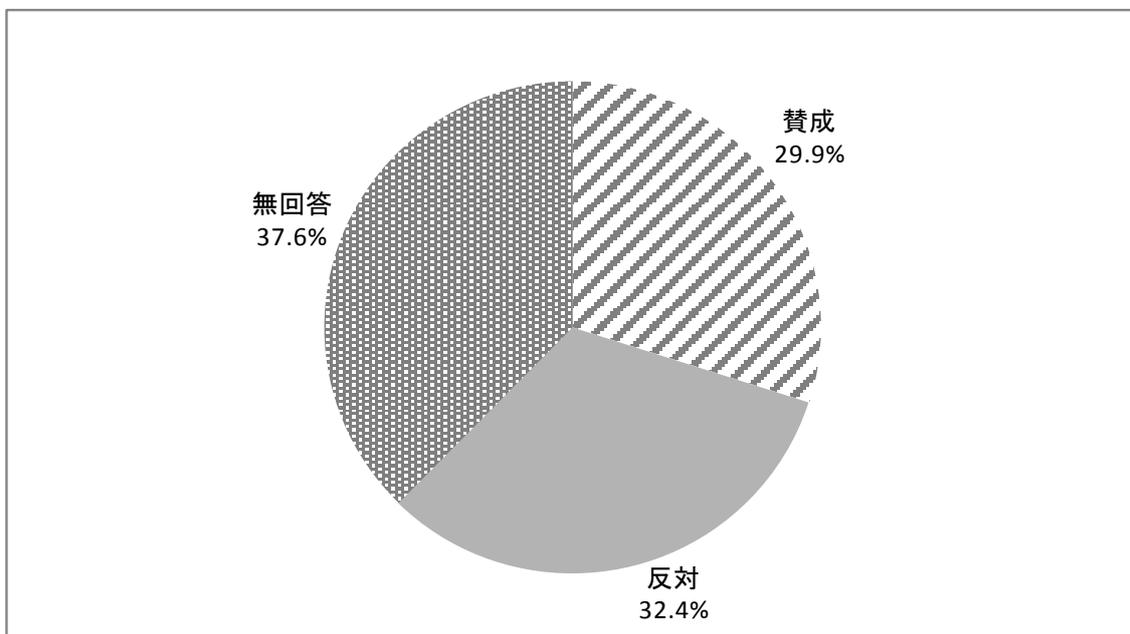
性別で見ると、男性は「3 必要ない」(41.6%)が「1 みんながやっているからやむを得ない」と「2 必要なことだ」の計(33.7%)より高く、女性も「3 必要ない」(32.3%)が「1 みんながやっているからやむを得ない」と「2 必要なことだ」の計(28.3%)より高くなっている。

年齢別で見ると、20歳代、30歳代は「3 必要ない」が過半数を占めており、40歳代以降は35%前後となっている。

【分析】

問7 すべての方にお尋ねします。仮に、次のような立場に立ったとしたら、あなたはどうしますか。
 (○はそれぞれ1つだけ) (新設)

① あなたの家族（お子さん、兄弟など）が結婚しようとする相手が、同和地区出身の人だとわかった場合
 (賛成・反対)



■同和地区出身者と自分の家族との結婚の賛否 (％)

分類		合計 (人)	賛成	反対	無回答
総数 (N)		1,012	29.9	32.4	37.6
性別	男性	527	31.5	31.1	37.4
	女性	462	28.4	34.8	36.8
	不明	23	26.1	13.0	60.9
年齢別	18～19歳	2	-	100.0	-
	20～29歳	48	58.3	16.7	25.0
	30～39歳	123	55.3	22.0	22.8
	40～49歳	156	35.3	32.1	32.7
	50～59歳	133	30.1	33.1	36.8
	60～69歳	230	21.7	29.6	48.7
	70～79歳	182	21.4	44.5	34.1
	80歳以上	115	14.8	38.3	47.0
	不明	23	26.1	17.4	56.5

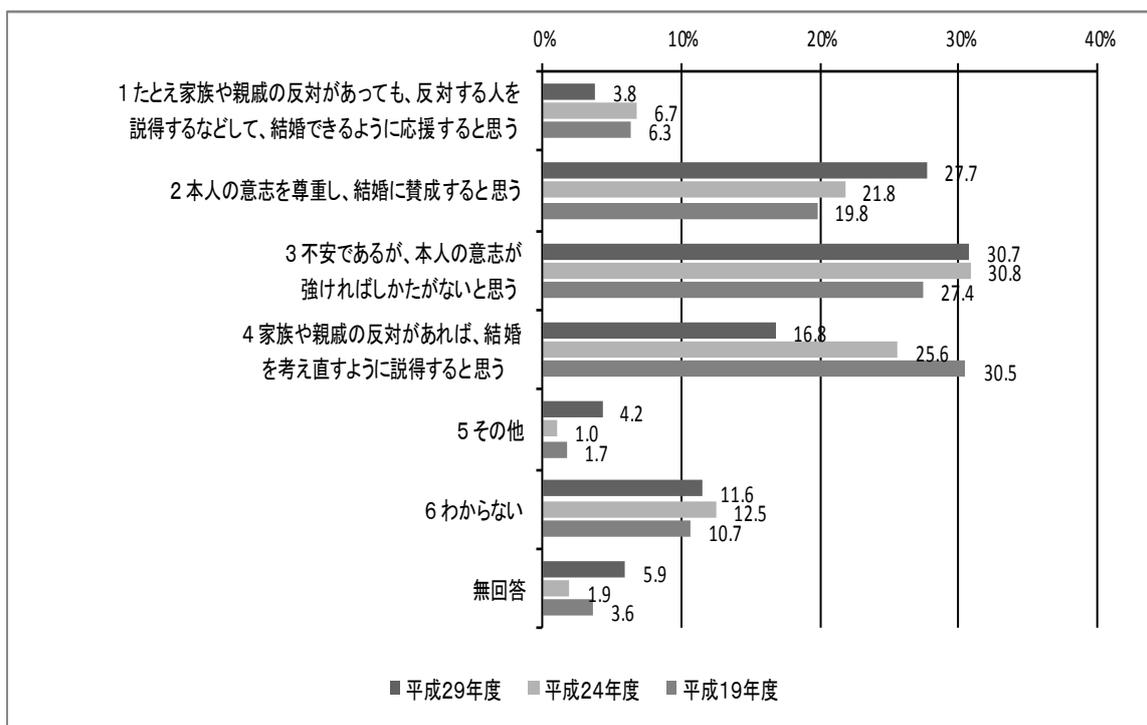
【回答傾向】

自分の家族（お子さん、兄弟など）が結婚しようとする相手が、同和地区出身の人だとわかった場合、賛成か反対かは、「反対」32.4%で「賛成」29.9%より多い。

性別でみると、男性は「賛成」と「反対」がほぼ同じ割合だが、女性は「賛成」28.4%、「反対」34.8%となっている。

年齢別でみると、20歳代～40歳代は「賛成」の割合が高いが、10歳代、50歳代～80歳以上は「反対」の割合が高くなっている。

【分析】



■同和地区出身者と自分の家族との結婚に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 たとえ家族 や親戚の反 対があつて も、反対する 人を説得す るなどして、 結婚できる ように応援 すると思う	2 本人の意志 を尊重し、結 婚に賛成す ると思う	3 不安である が、本人の 意志が強け ればしかた がないと思う	4 家族や親戚 の反対があ れば、結婚を 考え直すよ うに説得す ると思う	5 その他	6 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	3.8	27.7	30.7	16.8	4.2	11.6	5.9	
性別	男性	527	4.2	30.4	29.8	16.1	4.4	9.3	6.5
	女性	462	3.5	24.5	32.3	17.7	4.1	13.9	5.0
	不明	23	-	30.4	21.7	13.0	4.3	17.4	13.0
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	20～29歳	48	6.3	52.1	16.7	8.3	4.2	10.4	2.1
	30～39歳	123	4.9	39.8	32.5	8.9	6.5	5.7	2.4
	40～49歳	156	5.1	28.8	30.1	14.7	7.7	7.7	6.4
	50～59歳	133	2.3	27.1	27.8	18.0	5.3	12.8	7.5
	60～69歳	230	2.6	26.1	33.9	20.0	2.6	12.6	2.6
	70～79歳	182	4.4	20.9	34.1	18.7	2.7	11.0	8.2
	80歳以上	115	3.5	18.3	29.6	21.7	1.7	19.1	8.7
不明	23	-	26.1	21.7	13.0	4.3	17.4	17.4	

【回答傾向】

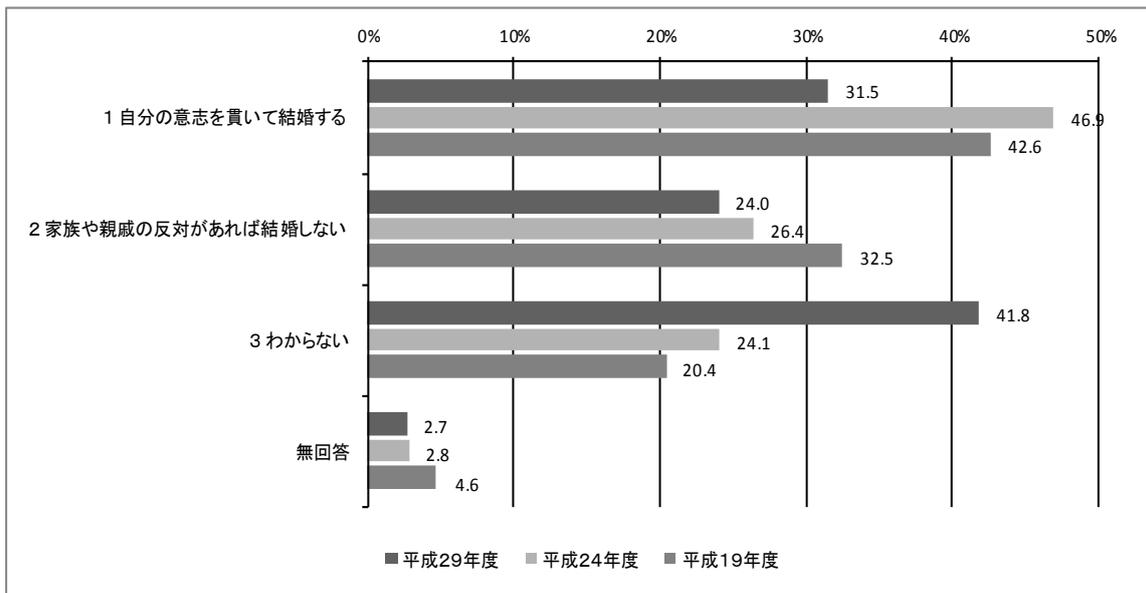
あなたの家族（お子さん、兄弟など）と同和地区出身の人との結婚について、「3 不安であるが、本人の意志が強ければしかたがないと思う」が30.7%と最も多くなっている。次いで「2 本人の意思を尊重し、結婚に賛成すると思う」が27.7%、「4 家族や親戚の反対があれば、結婚を考え直すように説得すると思う」が16.8%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、その中で差が一番大きい項目は、「2 本人の意思を尊重し、結婚に賛成すると思う」（男性：30.4%、女性：24.5%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、その中で差が一番大きい項目は、「6 わからない」（女性：13.9%、男性：9.3%）となっている。

年齢別にみると、20歳代では「2 本人の意思を尊重し、結婚に賛成すると思う」と「1 たとえ家族や親戚の反対があつても、反対する人を説得するなどして、結婚できるように応援すると思う」を合わせると58.4%で、他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

② あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人だとわかった場合



■同和地区出身者との結婚に関する意識

(%)

分類		合計 (人)	1 自分の意志を貫いて 結婚する	2 家族や親戚の反対 があれば結婚しない	3 わからない	無回答
総数 (N)		1,012	31.5	24.0	41.8	2.7
性別	男性	527	39.3	21.6	36.2	2.8
	女性	462	23.2	26.8	48.1	1.9
	不明	23	21.7	21.7	43.5	13.0
年齢別	18～19歳	2	-	-	100.0	-
	20～29歳	48	50.0	10.4	39.6	-
	30～39歳	123	52.8	14.6	32.5	-
	40～49歳	156	33.3	22.4	42.9	1.3
	50～59歳	133	38.3	21.1	39.8	0.8
	60～69歳	230	26.1	29.1	43.0	1.7
	70～79歳	182	23.1	28.6	43.4	4.9
	80歳以上	115	18.3	28.7	46.1	7.0
不明	23	17.4	21.7	47.8	13.0	

【回答傾向】

自分と同和地区出身の人との結婚について、「1 自分の意志を貫いて結婚する」が31.5%、「2 家族や親戚の反対があれば結婚しない」が24.0%、「3 わからない」が41.8%となっている。

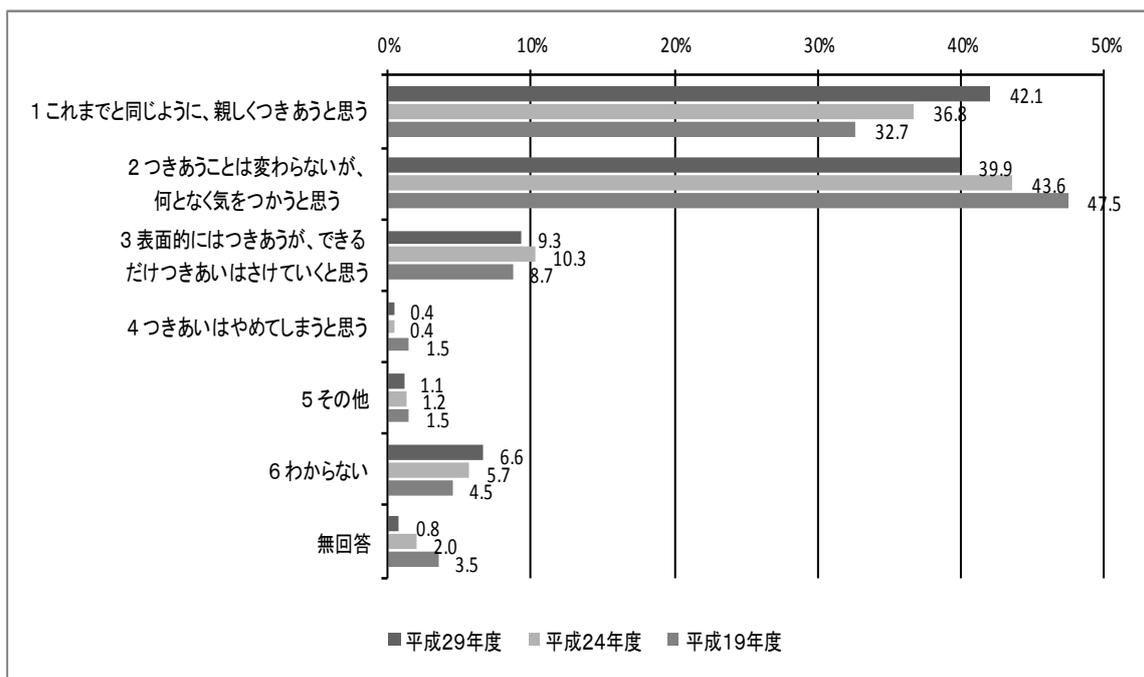
性別で見ると、「1 自分の意志を貫いて結婚する」は、男性が39.3%、女性が23.2%と女性より男性の割合が高い。

年齢別で見ると、「1 自分の意志を貫いて結婚する」は30歳代が52.8%と最も高くなっている。また、「2 家族や親戚の反対があれば結婚しない」は60歳代が29.1%と他の年齢

層と比較して高くなっている。

【分析】

③ あなたの職場や近所の人が、同和地区出身の人だとわかった場合



■同和地区出身者との付き合いの意識

(%)

分類	合計 (人)	1 これまでと同じように、親しくつきあうと思う	2 つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う	3 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいはさけていくと思う	4 つきあいはやめてしまうと思う	5 その他	6 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	42.1	39.9	9.3	0.4	1.1	6.6	0.8	
性別	男性	527	44.0	38.5	9.9	0.4	1.3	5.1	0.9
	女性	462	40.0	41.6	8.9	0.2	0.9	8.4	0.2
	不明	23	39.1	39.1	4.3	4.3	-	4.3	8.7
年齢別	18～19歳	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	20～29歳	48	66.7	22.9	4.2	-	-	6.3	-
	30～39歳	123	67.5	26.0	3.3	-	0.8	3.3	-
	40～49歳	156	51.9	35.3	5.8	1.3	0.6	4.5	0.6
	50～59歳	133	42.1	39.8	10.5	-	2.3	5.3	-
	60～69歳	230	37.4	46.1	11.7	-	0.4	3.9	0.4
	70～79歳	182	27.5	48.4	11.0	-	1.6	11.0	1.1
	80歳以上	115	24.3	44.3	13.9	0.9	1.7	13.0	1.7
	不明	23	39.1	34.8	8.7	4.3	-	4.3	8.7

【回答傾向】

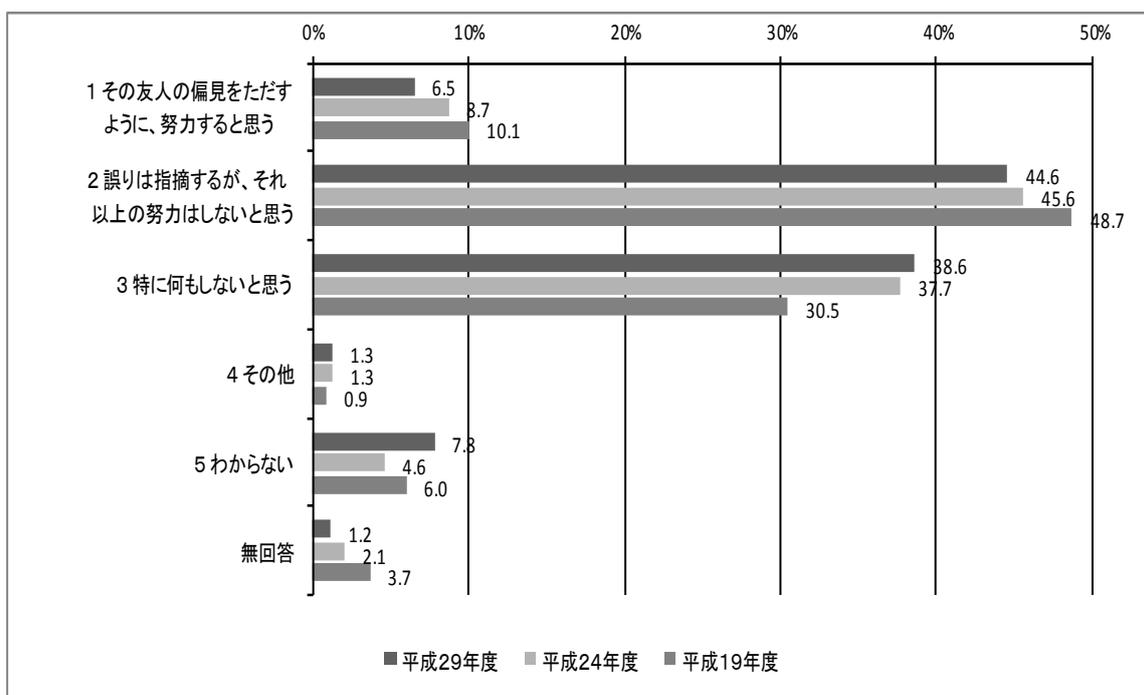
職場や近所の人と同和地区出身だと分かった場合の態度については、「1 これまでと同じように、親しくつきあうと思う」が42.1%と最も多く、次いで「2 つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う」が39.9%となっている。一方、「3 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいはさけていくと思う」は9.3%、「4 つきあいはやめてしまうと思う」は0.4%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「1 これまでと同じように、親しくつきあうと思う」（男性44.0%、女性40.0%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「6 わからない」（女性8.4%、男性5.1%）である。

年齢別でみると、10歳代～40歳代は「これまでと同じように、親しくつきあうと思う」が50%前後と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

④あなたの親しい友人が、同和問題について強い偏見をもっていることがわかった場合



■同和地区出身者に偏見を持っている人への態度

(%)

分類	合計 (人)	1 その友人の 偏見をただ すように、努 力すると思う	2 誤りは指摘 するが、それ 以上の努力 はしないと思 う	3 特に何もしな いと思う	4 その他	5 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	6.5	44.6	38.6	1.3	7.8	1.2	
性別	男性	527	8.3	48.0	35.7	1.3	5.5	1.1
	女性	462	4.8	40.5	42.6	1.3	10.2	0.6
	不明	23	-	47.8	26.1	-	13.0	13.0
年齢別	18～19歳	2	-	-	50.0	-	50.0	-
	20～29歳	48	4.2	62.5	22.9	2.1	8.3	-
	30～39歳	123	8.1	45.5	43.1	0.8	2.4	-
	40～49歳	156	4.5	49.4	41.0	1.3	3.2	0.6
	50～59歳	133	4.5	46.6	39.8	3.0	6.0	-
	60～69歳	230	4.8	47.0	40.4	0.9	6.1	0.9
	70～79歳	182	9.9	39.6	35.7	1.1	12.6	1.1
	80歳以上	115	10.4	31.3	38.3	0.9	15.7	3.5
	不明	23	-	43.5	30.4	-	13.0	13.0

【回答傾向】

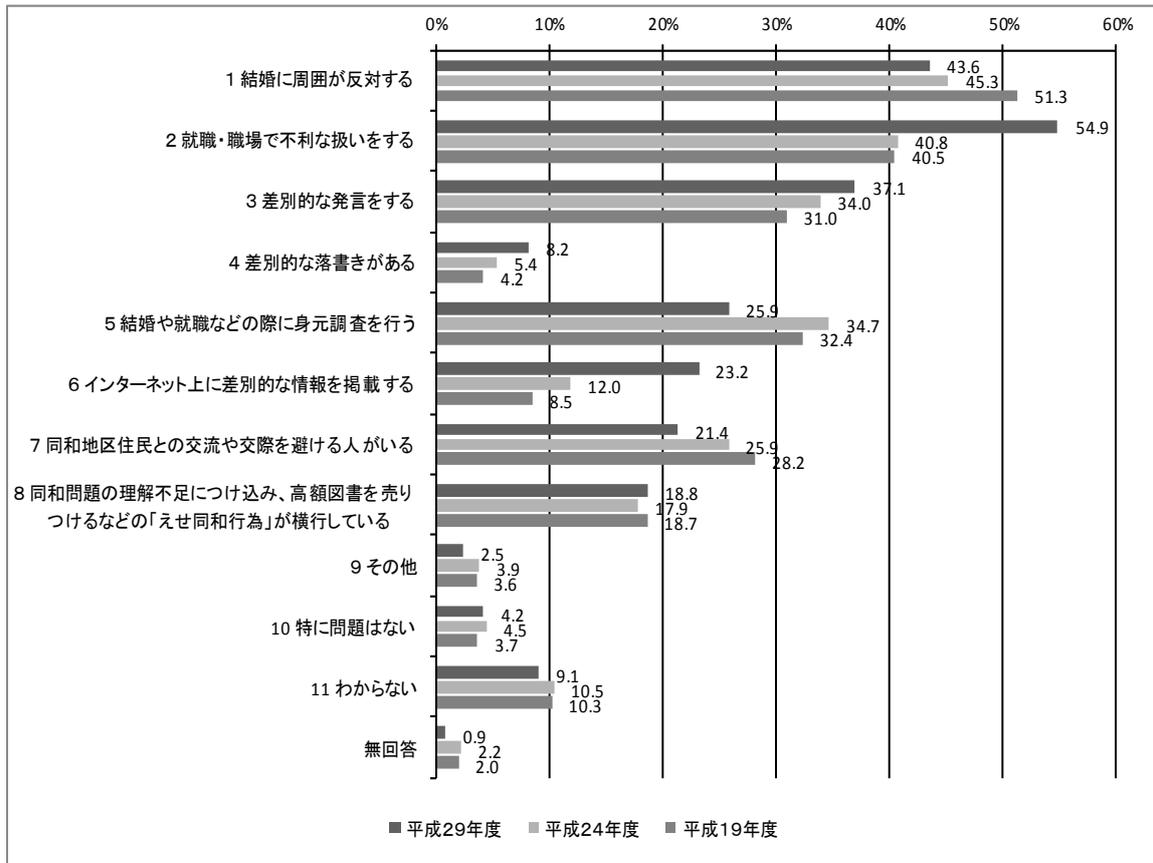
親しい友人が、同和問題に強い偏見をもっていることがわかった場合について、「2 誤りは指摘するが、それ以上の努力はしないと思う」が44.6%と最も高く、次いで「3 特に何もしないと思う」が38.6%、「1 その友人の偏見をただすように、努力すると思う」が6.5%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「2 誤りは指摘するが、それ以上の努力はしないと思う」(男性：48.0%、女性：40.5%)であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「3 特に何もしないと思う」(女性：42.6%、男性：35.7%)となっている。

年齢別でみると、「1 その友人の偏見をただすように、努力すると思う」は80歳以上(10.4%)が最も割合が高く、次いで70歳代、30歳代の順となっている。

【分析】

問8 同和問題に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。(〇は3つまで)



■同和問題に関する意識

(%)

分類	合計(人)	1 結婚に周囲が反対する	2 就職・職場で不利な扱いをする	3 差別的な発言をする	4 差別的な落書きがある	5 結婚や就職などの際に身元調査を行う	6 インターネット上に差別的な情報を掲載する	
総数(N)	1,012	43.6	54.9	37.1	8.2	25.9	23.2	
性別	男性	527	45.7	52.9	35.7	7.8	26.8	20.9
	女性	462	41.8	57.4	38.5	8.7	25.1	26.4
	不明	23	30.4	52.2	39.1	8.7	21.7	13.0
年齢別	18～19歳	2	50.0	100.0	100.0	-	-	50.0
	20～29歳	48	43.8	66.7	45.8	10.4	29.2	22.9
	30～39歳	123	45.5	65.0	41.5	7.3	26.8	24.4
	40～49歳	156	35.3	66.0	40.4	13.5	21.2	26.9
	50～59歳	133	43.6	61.7	30.1	9.0	22.6	25.6
	60～69歳	230	42.6	49.1	42.2	8.7	25.2	30.0
	70～79歳	182	52.2	46.2	31.9	4.4	31.9	14.3
	80歳以上	115	42.6	41.7	28.7	5.2	27.0	16.5
不明	23	34.8	52.2	39.1	8.7	21.7	13.0	

分類	合計 (人)	7 同和地区住 民との交流や 交際を避ける 人がいる	8 同和問題の 理解不足につ け込み、高額 図書を売りつ けるなどの 『えせ同和行 為』が横行し ている	9 その他	10 特に問題はな い	11 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	21.4	18.8	2.5	4.2	9.1	0.9	
性別	男性	527	23.0	22.4	2.5	5.1	6.8	0.6
	女性	462	20.1	14.7	2.4	3.0	11.9	0.6
	不明	23	13.0	17.4	4.3	8.7	4.3	13.0
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	27.1	12.5	4.2	2.1	2.1	-
	30～39歳	123	31.7	21.1	3.3	1.6	0.8	-
	40～49歳	156	16.0	25.0	2.6	0.6	7.1	-
	50～59歳	133	21.1	23.3	3.0	3.8	6.8	-
	60～69歳	230	18.7	20.4	1.7	2.2	7.8	0.4
	70～79歳	182	25.8	12.1	2.7	8.8	14.8	2.2
	80歳以上	115	16.5	12.2	0.9	10.4	20.9	0.9
不明	23	13.0	21.7	4.3	4.3	4.3	13.0	

【回答傾向】

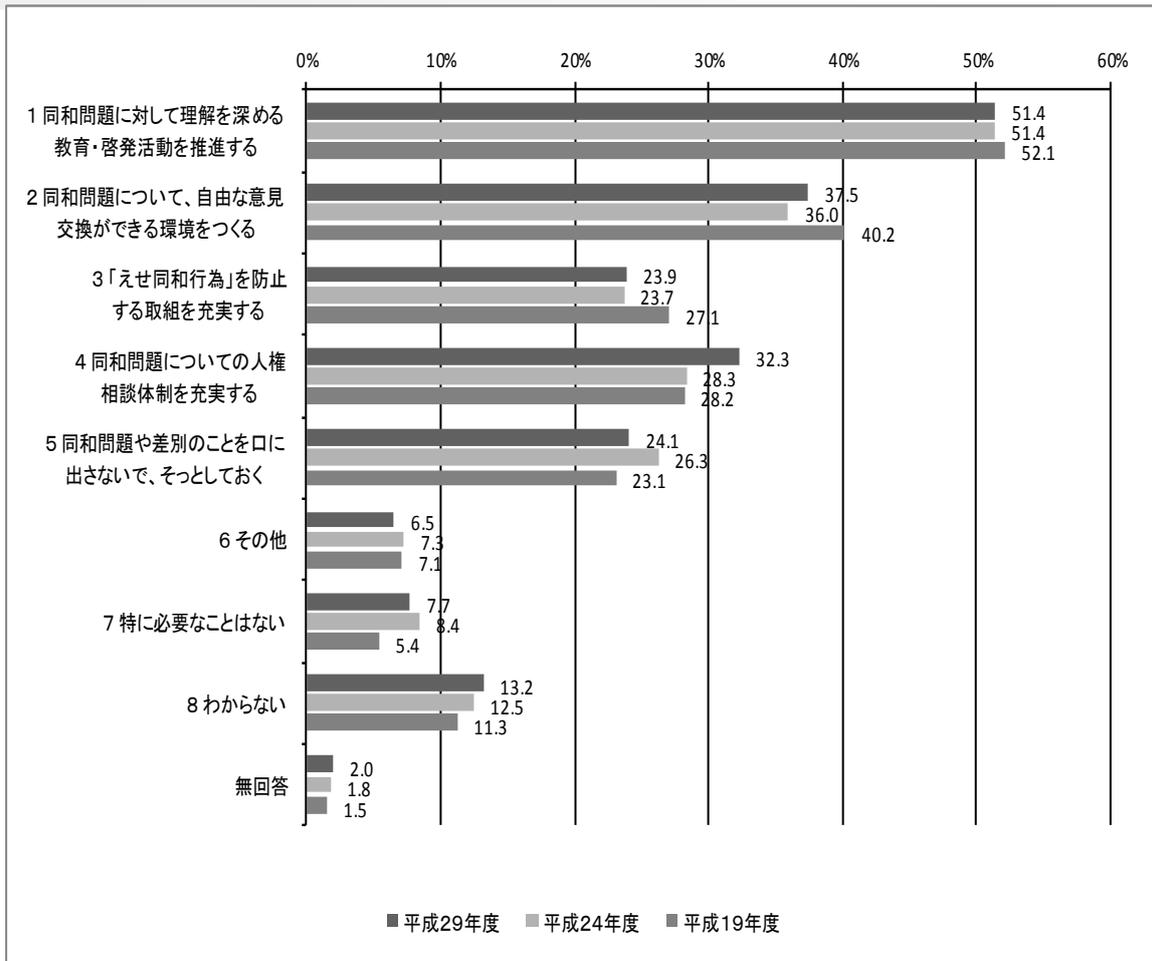
同和問題に関することで、人権上、深刻な問題と思われることについて、「2 就職・職場で不利な扱いをする」が54.9%と最も高く、次いで「1 結婚に周囲が反対する」が43.6%、「3 差別的な発言をする」が37.1%、「5 結婚や就職などの際に身元調査が行う」が25.9%、「6 インターネット上に差別的な情報を掲載する」が23.2%、「7 同和地区住民との交流や交際を避ける人がいる」が21.4%、「8 同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどの『えせ同和行為』が横行している」が18.8%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「8 同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどの『えせ同和行為』が横行している」（男性：22.4%、女性：14.7%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「6 インターネット上に差別的な情報を掲載する」（女性：26.4%、男性：20.9%）となっている。

年齢別でみると、10歳代で「2 就職・職場で不利な扱いをする」・「3 差別的な発言をする」（100%）、70歳代で「1 結婚に周囲が反対する」（52.2%）が他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問9 同和問題の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■ 同和問題解決に対する考え

(%)

分類	合計(人)	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	
		同和問題に対して理解を深める教育・啓発活動を推進する	同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	「えせ同和行為」を防止する取組を充実する	同和問題についての人権相談体制を充実する	同和問題や差別のことを口に出さなくて、そっとしておく	その他	特に必要なことはない	わからない		
総数(N)	1,012	51.4	37.5	23.9	32.3	24.1	6.5	7.7	13.2	2.0	
性別	男性	527	51.4	40.4	29.0	31.7	24.3	6.8	9.5	9.9	1.1
	女性	462	52.6	34.2	18.4	33.1	23.8	6.5	5.8	17.1	2.2
	不明	23	26.1	34.8	17.4	30.4	26.1	-	4.3	13.0	17.4
年齢別	18～19歳	2	100.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	66.7	18.8	22.9	22.9	18.8	10.4	4.2	10.4	-
	30～39歳	123	58.5	28.5	28.5	32.5	26.8	10.6	4.1	8.1	-
	40～49歳	156	55.1	39.1	30.8	25.6	16.7	10.9	3.2	14.1	-
	50～59歳	133	57.1	36.8	30.8	31.6	16.5	6.8	8.3	9.8	2.3
	60～69歳	230	50.4	36.5	24.8	37.4	23.5	4.3	4.8	11.7	3.5
	70～79歳	182	45.6	47.3	15.4	31.9	29.1	3.8	13.7	17.0	1.6
	80歳以上	115	40.9	40.9	13.9	35.7	36.5	4.3	14.8	20.0	1.7
不明	23	26.1	30.4	21.7	30.4	21.7	-	8.7	13.0	17.4	

【回答傾向】

同和問題の解決のために必要と思われることについて、「1 同和問題に対して理解を深める教育・啓発活動を推進する」が51.4%と最も高く、次いで「2 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が37.5%、「4 同和問題についての人権相談体制を充実する」が32.3%となっている。

性別でみると、女性より男性は「3 『えせ同和行為』を防止する取組を充実する」（男性：29.0%、女性：18.4%）の割合が特に高くなっている。

年齢別でみると、「1 同和問題に対して理解を深める教育・啓発活動を推進する」、「4 同和問題についての人権相談体制を充実する」が10歳代で100%、「5 同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておく」は80歳代36.5%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】